

11. 日本の教育経験を 活かした環境教育の進め方

1 実施機関

- 宮城教育大学

2 実施場所

- グリーンピア岩沼(8月6日)(岩沼市北長谷字切通1-1)
- 宮城教育大学(8月7日)(仙台市青葉区荒巻字青葉149番地)
2号館226番教室

3 担当講師

- 本学教授 **村松 隆**(有機化学・環境教育)
- // **鵜川 義弘**(生物情報学)
- 准教授 **斉藤千映美**(保全生物学)
- // **島野 智之**(土壌動物学・微生物生態学・ダニ学)
- 助教 **溝田 浩二**(昆虫分類学・環境教育)
- 東京学芸大学教授・日本環境教育学会会長
小澤紀美子(住居学・まちづくり・環境教育)

4 講座のねらい

日本の環境教育の進展はめざましく、学校、企業、自治体、地域ボランティアによって、新しい多くの事例が作りだされている。このような事例の実践上のノウハウは、環境教育の計画立案などに役立つものである。しかし、地域環境に関する素材の入手や人材の求め方など、環境教育を実施するための課題も多い。

この講座では、岩沼市教育委員会との共催で、グリーンピア岩沼の自然フィールドを活用した環境教育の進め方に関する研修会と、宮城教育大学を会場とした青葉山環境教育セミナーを開催し、周辺の地域環境を環境教育に活用する方法等について検討することを目的としている。



5 受講対象者

- 現職教員（定員40名、受付順）

6 講座の日程

第1日目／8月6日(月) 9:30～16:00(昼休を含む)	第2日目／8月7日(火) 13:00～17:50
<p>【テーマ】 自然を活用した環境教育研修</p> <p>環境教育の進め方、環境教育教材の作成法等に関する講義と、グリーンピア岩沼の自然を活用して、環境教育の進め方に関する実習を行う。</p>	<p>【テーマ】 学校における環境学習の課題対応／青葉山環境教育セミナー</p> <p>13:00～13:50 岩沼市教育委員会が実施したアンケート調査結果にもとづいて、環境教育の指導者対応に関する検討を行う。</p> <p>14:00～17:50 青葉山環境教育セミナーとして、現代の環境教育の目的や諸課題についての講義を行う。</p>

7 受講料

- 無料